

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 1日

事業所名 Linkerミーム

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 定員人数が十分に活動できるスペースを確保しており、さらに個別で学習できるスペースも用意している。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 配置基準は常勤で満たしている。 | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 事業所は1階部分になり、入り口にはスロープが設置されている。室内は段差もなく開放的である。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 感染予防のため、活動終了後には必ず清掃・消毒を行っている。 | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 日々の業務内容を事業所内で振り返るとともに、朝礼やSNSを用いて、全事業所で共有している。 | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 評価表よりご意見をいただいた場合は、すぐに全職員と共有し、対応するようにしている。 | |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | 適宜、SNS上でお伝えしている。 | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 経費の問題で、費用がかかる外部評価を依頼するより、療育の向上に予算を優先させているため、予算の見直しが必要。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | コロナ禍で対面の研修は難しいため、オンラインで参加できるようにしている。 | |
| | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | ご家庭等での様子を細かく聞き取り、本質的にどのような支援が必要なのかということ、計画に反映させている。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|--|----|---|--|--------------------------|
| 適切な支援の提供 | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | | ○ | アセスメントツールを使って判断するのではなく、実際の生活における行動を細かく聞き取り把握することを重視している。 | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 職員それぞれの得意分野を生かして立案している。 | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 前回の児童の様子や、来所するメンバーに合わせて、活動内容を毎回組み立てている。 | |
| 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | 子どもによって、個別で取り組む課題、小集団で取り組む課題など、必要な形で組み合わせながら、支援計画にも反映させている。 | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------------------|----|---|----|-----|--|---|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 事業所内で確認を行うとともに、朝礼で全事業所に必要事項を共有している。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | | ○ | 時間をとることは難しいが、事業所内で簡単な振り返りを行い、SNS上や翌日の朝礼で全事業所にも共有している。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 毎日の記録をデータで残しており、それを元に朝礼などで振り返り、検討を行っている。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | 定期的なモニタリングは行っているが、さらに日々の状況の変化を計画に反映出来たら尚良い。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 当事業所から参加できる日程で組んでもらっており、さらに日々の児童の様子を把握している者が参加、情報提供している。 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | | 必要に応じて連絡を取ることはあるが、さらに日常的に連携し、保護者支援を行ってきたい。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | / | / | / | / |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | / | / | / | / |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 当事業所での情報は詳細にお渡しするようにしており、必要であれば保護者様も交え、直接連絡をとるようにしている。 | 定期的に情報共有できる機会を持つことができれば、より良い支援ができると考えている。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 同上 | 同上 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 西宮の事業所が集まる連絡協議会に参加し、情報を共有している。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------|----|--|----|-----|--|---|
| との連携 | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | 守秘義務の問題で、行っていない。 | 就園に向けて必要な児童には園庭解放等紹介していきたいが、まずは社会生活に適応出来るようしっかり療育を行うことを優先したい。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | 西宮の連絡協議会に参加している。 | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 日々の様子は連絡帳でやり取りを行っており、さらに気になる点はその都度直接お話するようにしている。 | 変化が見られた際にはその都度お伝えするようにしているが、全てのご家庭と定期的に連絡をとる等、より密に保護者様と連携を取れるようにしていきたい。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | 必要のご家庭に関しては、実際のご家庭の状況に合わせた対応を個別でお伝えしている。 | 保護者会等の形で、より多くのご家庭と共有できるようにしていきたい。 |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 利用開始時にご説明させていただいており、運営規程は随時壁に貼り出している。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|-----------------------|-----------------------|---|----------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | <input type="radio"/> | | 送迎時に保護者様と直接お話できる機会があり、その際に相談いただくことも多い。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | <input type="radio"/> | | コロナ対策で人数を制限した形ではあるが、保護者会を行った。 | 定期的に開催し、頻度を増やしていきたい。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | <input type="radio"/> | | ご意見をいただいた際には、すぐに全職員と共有・対応し、改善点をご報告している。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | <input type="radio"/> | | 保護者様専用のSNSで、適宜必要な情報を発信している。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | <input type="radio"/> | | 写真が見たいご家庭のために、保護者様専用のSNSでのみ閲覧できるようにしている。掲載を控えたいご家庭は事前にチェックしている。 | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | <input type="radio"/> | | | |
| 非常時等の対応 | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | <input type="radio"/> | 守秘義務の問題で、行っていない。 | |
| | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | <input type="radio"/> | | | 保護者様にもSNS等で定期的に発信し、定着させていく必要がある。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | <input type="radio"/> | | | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している | <input type="radio"/> | | アセスメント時に必ず確認するとともに、保護者様にも適宜ご連絡いただいている。確認が必要な児童もいるため、記録を残している。 | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | <input type="radio"/> | | | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | <input type="radio"/> | | クラウド内でいつでも確認できるようにしており、さらに朝礼で全事業所に共有している。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----|--|--|----|-----|--|--|
| 46 | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 研修だけでなく、日々の振り返りの中で、虐待とはどのようなことが念頭において、対応を検討している。 | |
| 47 | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 基本的に身体拘束は行わない。タイムアウトというアプローチが必要な児童がいる場合は、保護者様に詳細説明の上、承諾をいただいている。ただ、その際には計画にも記載するよう定めている。 | 現状として、必要な児童は当事業所にいないが、そのようなことも想定した環境設定や対応の仕方を考えておく必要がある。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。